

北海道ギャンブル等依存症対策推進計画に係る取組状況一覧

施策	具体的な取組	主な実施主体	年次ごとの取組内容			評価	第1期評価を踏まえた今後の取組（予定）
			R2	R3	R4		
三次予防（再発予防）							
【重点目標】ギャンブル等依存症に関する予防及び相談から治療、回復支援に至る切れ目のない支援体制を整備							
○ギャンブル等依存症からの回復支援							
(1) 社会復帰への支援	・ギャンブル等依存症は、治療や回復に向けた支援を行うことにより回復できる病気であり、社会復帰が可能であること等の啓発に取り組み、ギャンブル等依存症に対する理解を促進します。	北海道医師会	—	主催者からの依頼に基づき、協力を検討いたします。			
		北海道精神神経科診療所協会	嗜癪を診ている診療所において、相談、治療プログラムを実施。自助グループを紹介	—			
		北海道臨床心理士会	—	会員に対する情報提供を行い、会員、会員の勤務する施設や利用者への啓発を図る。			
		北海道精神保健福祉士協会	具体的な活動を計画したいところであったが、コロナウイルスの影響により全体的な活動が縮小しており、達成できていない。	具体的な活動を計画したいところだが、コロナウイルスの影響により今後の見通しは未定である。			
		北海道立精神保健福祉センター	ギャンブル等依存症問題啓発ポスターの掲示やホームページを活用し周知を図った。また、ギャンブル等依存症の相談などを通じて社会復帰が可能であること等、理解を促進した。	ギャンブル等依存症問題啓発ポスターの掲示やホームページを活用し周知を図る。また、ギャンブル等依存症の相談などを通じて社会復帰が可能であること等、理解を促進する。			
		札幌こころのセンター	当センター作成の「ギャンブル等依存症回復のしおり」や「依存症相談窓口・依存症専門医療機関周知チラシ」等を相談の際に活用し、ギャンブル等依存症への理解や相談の促進を図った。	引き続き、「ギャンブル等依存症回復のしおり」の相談への活用や「依存症相談窓口・依存症専門医療機関周知チラシ」や当センターホームページ・SNS等においての情報発信等を通じて、ギャンブル等依存症への理解や相談の促進を図る。			
		北海道作業療法士会	会員の取り組み内容の把握作業。	会員の取り組みに関する把握作業の継続と研修機会の提供について検討。作業療法士養成教育における教育状況の把握。			
		青十字サマリヤ会	当事者の社会復帰支援として障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスとして宿泊型自立訓練及び自立訓練（生活訓練）の事業を提供している。また、依存症からの回復をテーマに令和2年度第28回サマリヤ館セミナー11月23日かでの27の大会議室にて入館者や退館者の回復への体験談を中心に、当事者、家族、各関係者の方々が参加してセミナーを開催する予定だったが感染防止のため今年度は中止とした。	当事者の社会復帰支援として障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスとして宿泊型自立訓練及び自立訓練（生活訓練）の事業を提供している。また、依存症からの回復をテーマに令和3年度第29回サマリヤ館セミナー11月23日かでの27の大会議室にて入館者や退館者の回復への体験談を中心に、当事者、家族、各関係者の方々が参加してセミナーを開催する予定だったが感染防止のため今年度は中止とした。			
		札幌方面遊技事業協同組合	業界全体でのギャンブル等依存症問題啓発週間中の啓発活動をはじめ、営業店舗にて一次二次予防にて示した活動を恒常的に推進している	今後も体制の充実を図っていく			
		北海道産業保健総合支援センター	事業主セミナーを計画していたが、未実施となった。	事業主、産業保健スタッフ向けセミナー（Web）開催計画			

施策	具体的な取組	主な実施主体	年次ごとの取組内容			評価	第1期評価を踏まえた今後の取組(予定)
			R2	R3	R4		
<p>・医療機関や相談機関などの関係機関の間で自助グループの活動や回復施設等の取組について情報を共有し、相談者を適切な支援につなげるため、これらの情報を提供し、自助グループ及び回復施設の活用につなげます。</p>	保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課		—	依存症支援機関アクセスマップを関係機関等へ周知し、相談支援の連携強化を図る。			
	道立保健所	ホームページを活用し、相談窓口等を周知するほか、来所、電話、メール相談等を通して、当事者、家族等に必要な社会資源を紹介	ホームページを活用し、相談窓口等を周知するほか、来所、電話、メール相談等を通して、当事者、家族等に必要な社会資源を紹介				
	北海道立精神保健福祉センター	北海道立精神保健福祉センター依存症対策連携会議を開催し、各関係機関と回復支援に向けた情報を共有した。 令和2年9月(書面)、令和3年2月(WEB)	北海道立精神保健福祉センター依存症対策連携会議を開催し、各関係機関と回復支援に向けた情報を共有する。				
	札幌こころのセンター	「札幌市依存症対策総合支援連携会議」において、各機関の活動や取組、課題などを共有し、情報共有や連携協力の機会とした。	引き続き、「札幌市依存症対策総合支援連携会議」を情報共有、連携の場として活用を進める。				
	依存症治療拠点機関	通院・入院患者に対して、GAへのつながりを促し、また、家族にはGAM-ANON等を紹介しています。	通院・入院患者に対して、GAへのつながりを促し、また、家族にはGAM-ANON等を紹介しています。				
<p>・本人の治療、回復には、家族の協力が重要であり、家族に対し、当事者と同様の支援や治療に関する情報を提供することにより、家族自身がギャンプル等依存症への理解を深められるよう支援します。また、家族自身が同じような境遇の家族と話せる場として、民間支援団体等を紹介するなどして、家族ができることや本人への接し方を学ぶ機会を確保できるように努めます。</p>	北海道医師会		—	現時点では未定。			
	北海道立精神保健福祉センター	来所(48件)、電話(42件)、メール相談(4件)などを通じて当事者、家族等に必要な社会資源を紹介した。	来所、電話、メール相談などを通じて当事者、家族等に必要な社会資源を紹介する。				
	札幌こころのセンター	「札幌市依存症相談窓口(札幌市依存症相談拠点)」において家族からの相談に電話と面接で対応している他、家族向けに「家族セミナー」を自助グループと共催で開催し、家族への支援や家族が自助グループにつながる支援を実施している。	引き続き「札幌市依存症相談窓口(札幌市依存症相談拠点)」における家族相談や「家族セミナー」を継続し、家族支援の取組を進める。				
	依存症治療拠点機関	家族相談も受けております。また、必要に応じてGAM-ANONなどを紹介します。	左記の継続				
	北海道作業療法士会	会員の取り組み内容の把握	会員の取り組みについて引き続き把握作業を継続。				
	札幌医科大学医学部神経精神医学講座	ギャンプル等依存症の相談の際に、当事者と家族に必要な情報を提供し、家族がギャンプル等依存症への理解を深められるよう支援した。	ギャンプル等依存症の相談の際に、当事者と家族に必要な情報を提供し、家族のギャンプル等依存症への理解を支援する。				
	<p>・職域においては、就労及び復職が偏見なく行われるよう、職場における理解や支援を促進します。</p>	依存症治療拠点機関	必要に応じ、患者の職場と連携を取っております。	必要に応じ、患者の職場と連携を取っております。			
北海道産業保健総合支援センター		事業主セミナーを計画していたが、未実施となった。	事業主、産業保健スタッフ向けセミナー(Web)開催計画				

施策	具体的な取組	主な実施主体	年次ごとの取組内容			評価	第1期評価を踏まえた今後の取組(予定)
			R2	R3	R4		
(2) 民間団体の活動に対する支援	○自助グループ等との連携促進						
	・精神保健福祉センター、保健所、市町村等においては、自助グループ等を地域の貴重な社会資源とし、相談等の事業を協働して実施するとともに活動の周知に協力し、必要な支援に努めます。	道立保健所	自助グループの活動に参画し、情報共有を図るとともに、自助グループについて、相談時等に活動の周知を行っている。	自助グループの活動に参画し、情報共有を図るとともに、自助グループについて、相談時等に活動の周知を行う。			
		北海道立精神保健福祉センター	北海道立精神保健福祉センター依存症対策連携会議を開催し、各関係機関と回復支援に向けた情報を共有した。 令和2年9月(書面)、令和3年2月(WEB)	北海道立精神保健福祉センター依存症対策連携会議を開催し、関係機関と回復支援に向けた情報を共有する。			
		札幌こころのセンター	「札幌市依存症相談窓口(札幌市依存症相談拠点)」において本人・家族からの相談を受け、相談内容に応じて専門医療機関や自助グループ、関係相談窓口を紹介している。 また、家族向けに「家族セミナー」を行い自助グループ紹介や合同の相談会を実施している。	引き続き、「札幌市依存症相談窓口(札幌市依存症相談拠点)」における専門相談の実施、「家族セミナー」の実施などにより、相談者を専門医療機関や自助グループなどへ繋ぐ取組を継続する。			
	・自助グループや回復施設を利用した回復者の体験談や回復事例などを広く道民に紹介すること等により、回復支援における自助グループ等の役割等を啓発します。	道立保健所	自助グループの活動に参画し、情報共有を図るとともに、自助グループについて、相談時等に活動の周知を行っている。	自助グループの活動に参画し、情報共有を図るとともに、自助グループについて、相談時等に活動の周知を行う。			
		北海道立精神保健福祉センター	自助グループとの連携、北海道アディクションフォーラム運営助言した。	自助グループとの連携、北海道アディクションフォーラム運営助言する。			
	・ギャンブル等依存症に関する啓発に関し、自助グループ等や関係団体等と連携し、より効果的な理解促進のための取組を推進します。	道立保健所	自助グループの活動に参画し、情報共有を図るとともに、自助グループについて、相談時等に活動の周知を行っている。	自助グループの活動に参画し、情報共有を図るとともに、自助グループについて、相談時等に活動の周知を行う。			
		北海道立精神保健福祉センター	全道域で活動する精神保健福祉団体に対する支援協力を行った。 自助グループとの連携、北海道アディクションフォーラム運営を助言した。	全道域で活動する精神保健福祉団体に対する支援協力を行った。 自助グループとの連携、アディクションフォーラム運営を助言した。			

施策	具体的な取組	主な実施主体	年次ごとの取組内容			評価	第1期評価を踏まえた今後の取組(予定)
			R2	R3	R4		
	○自助グループ等への支援						
	・自助グループ等が活動しやすいように、関係機関と連携を図り、それぞれの団体の機能に応じた役割を果たす機会や場所を提供するなど、自助グループ等の活動の支援に努めます。	道立保健所	自助グループの活動に参画し、情報共有を図るとともに、自助グループについて、相談時等に活動の周知を行っている。	自助グループの活動に参画し、情報共有を図るとともに、自助グループについて、相談時等に活動の周知を行う。			
		北海道立精神保健福祉センター	必要に応じて自助活動に取り組めるよう助言等行った。	必要に応じて自助活動に取り組めるよう助言等行う。			
	・関係機関との連携を強化し、ギャンブル等依存症で悩む方やその家族が、自助活動等に取り組みやすい環境づくりを行うよう努めます。	保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課	—	アクセスマップを関係機関等へ周知し、相談支援の連携強化を図る。			
		道立保健所	自助グループの活動に参画し、情報共有を図るとともに、自助グループについて、相談時等に活動の周知を行っている。	自助グループの活動に参画し、情報共有を図るとともに、自助グループについて、相談時等に活動の周知を行う。			
		北海道立精神保健福祉センター	必要に応じて自助活動に取り組めるよう助言等行った。	必要に応じて自助活動に取り組めるよう助言等行う。			
	・自助グループ等の活動を知り、共にギャンブル等依存症について学ぶ機会を持つなど、自助グループ等についての理解を深めます。	北海道立精神保健福祉センター	ギャンブル等依存症について連携と学びの場とし、自助グループに参加した。 年8回	ギャンブル等依存症について連携と学びの場として自助グループに参加する。			